

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（とがち） 十勝森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、十勝森林計画区の北東部に位置する128千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の森林は、トドマツ、エゾマツ等の針葉樹にミズナラ、シナノキ等の広葉樹が混交する天然林が85%を占め、残りの15%が昭和30年代以降に造成されたトドマツ、アカエゾマツ等の針葉樹人工林となっている。</p> <p>また、中央を利別川が南下し、十勝川に合流する地域で利別川の川沿いに陸別町、足寄町、本別町の市街地が発達するとともに、平野部には耕地が広がっており、支流には電源開発用のダムがあるほか、国有林内には水源が点在し地域の飲料水、営農用水等の各種用水の確保、水質保全、洪水による被害の防止等のため、水源かん養機能や山地災害防止機能の発揮が期待されている。</p> <p>なお、当計画区内にある足寄町、本別町及び陸別町は、従来から林業が盛んで木材等生産機能の発揮が期待される森林も多く存在している。</p> <p>一方、当地域は、阿寒国立公園に指定され、雌阿寒岳やオネトーの周辺にはトドマツ、エゾマツ、アカエゾマツの針葉樹林が広がっており、一部にはアカエゾマツの純林が見られ、自然環境の維持が望まれるとともに、自然休養林にも指定され、保健休養の場としても活用されている。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じて実施するものである。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">1,472 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">14,467 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">23.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">30.0 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,472 ha			保育面積	14,467 ha		路網整備	開設延長	23.6 km			改良延長	30.0 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,472 ha																
		保育面積	14,467 ha																
	路網整備	開設延長	23.6 km																
		改良延長	30.0 km																
費用対効果分析	総便益（B）	8,594,750 千円																	
	総費用（C）	1,100,231 千円																	
	分析結果（B/C）	7.81																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p style="margin-top: 10px;">新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 北海道森林管理局

事業実施地区名: 十勝森林計画区(北海道)

十勝東部森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,201,242	
	流域貯水便益	725,183	
	水質浄化便益	976,092	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,327,646	
環境保全便益	炭素固定便益	605,597	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	227,338	
	木材利用増進便益	1,079	
	木材生産確保・増進便益	167,877	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	207,179	
	治山経費縮減便益	18,501	
	森林管理等経費縮減便益	137,016	
総便益(B)		8,594,750	
総費用(C)		1,100,231	
費用便益比		7.81	